

KOKUYO

平成26年12月期
第2四半期
〈1～6月〉

連結決算補足資料

平成26年7月25日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

財務経理部

お問い合わせ先 : 財務経理部長 小嶋 浩毅

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 26年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、消費増税前の駆け込み需要やその反動が一時的に発生したものの、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したこと等により、前年同期比3.7%増の1,562億円となりました。

利益面では、営業利益は、増収による売上総利益の増加等により、前年同期比12.7%増の73億円、経常利益は、為替相場が前年同期に比べ安定したため為替差益が減少しましたが、前年同期比2.3%増の79億円となりました。四半期純利益は、法人税等の増加により、前年同期比10.8%減の39億円となりました。

(単位:百万円)

	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	150,629	156,243	+5,614	+3.7%
売上総利益 (率)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	+2,418 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	+1,587 (△0.0p)	+3.6%
営業利益 (率)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	+831 (+0.4p)	+12.7%
経常利益 (率)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
四半期純利益 (率)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

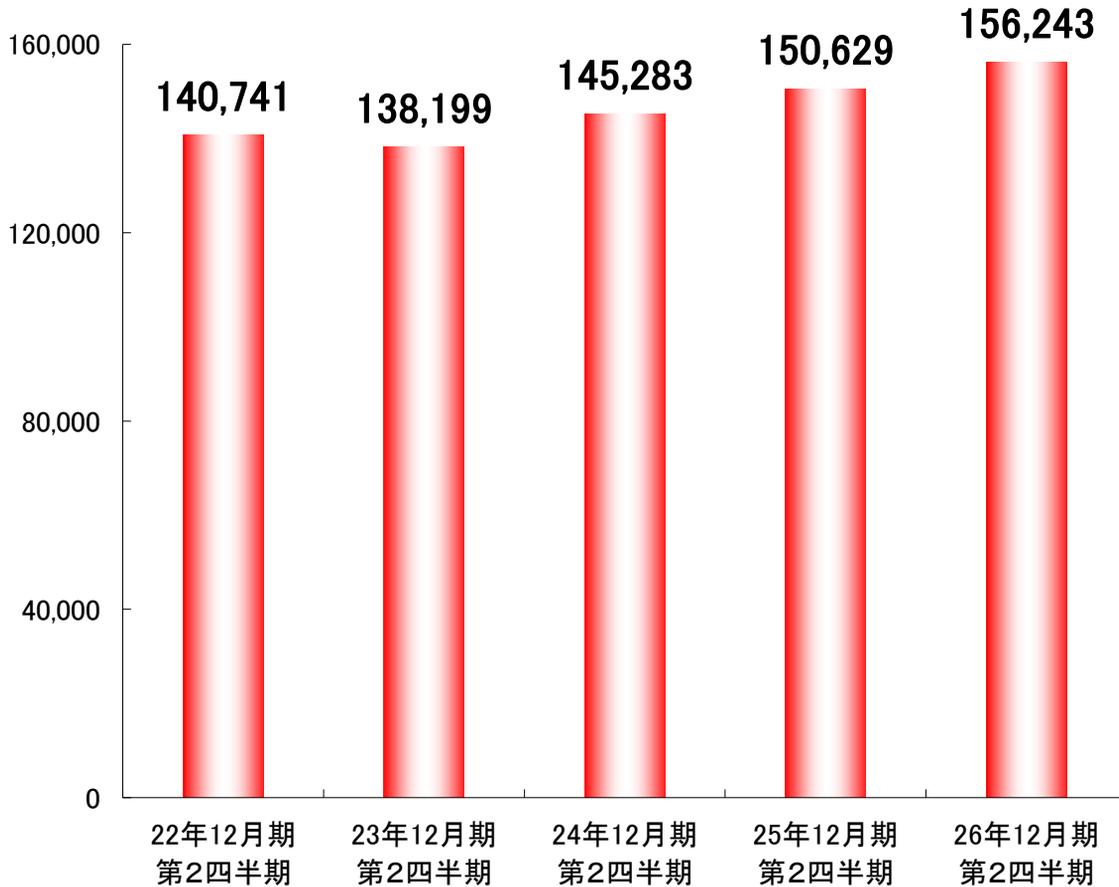
(注)連結子会社24社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、消費増税前の駆け込み需要やその反動が一時的に発生したものの、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したことや海外事業が伸長したこと等により、前年同期比3.7%増の1,562億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

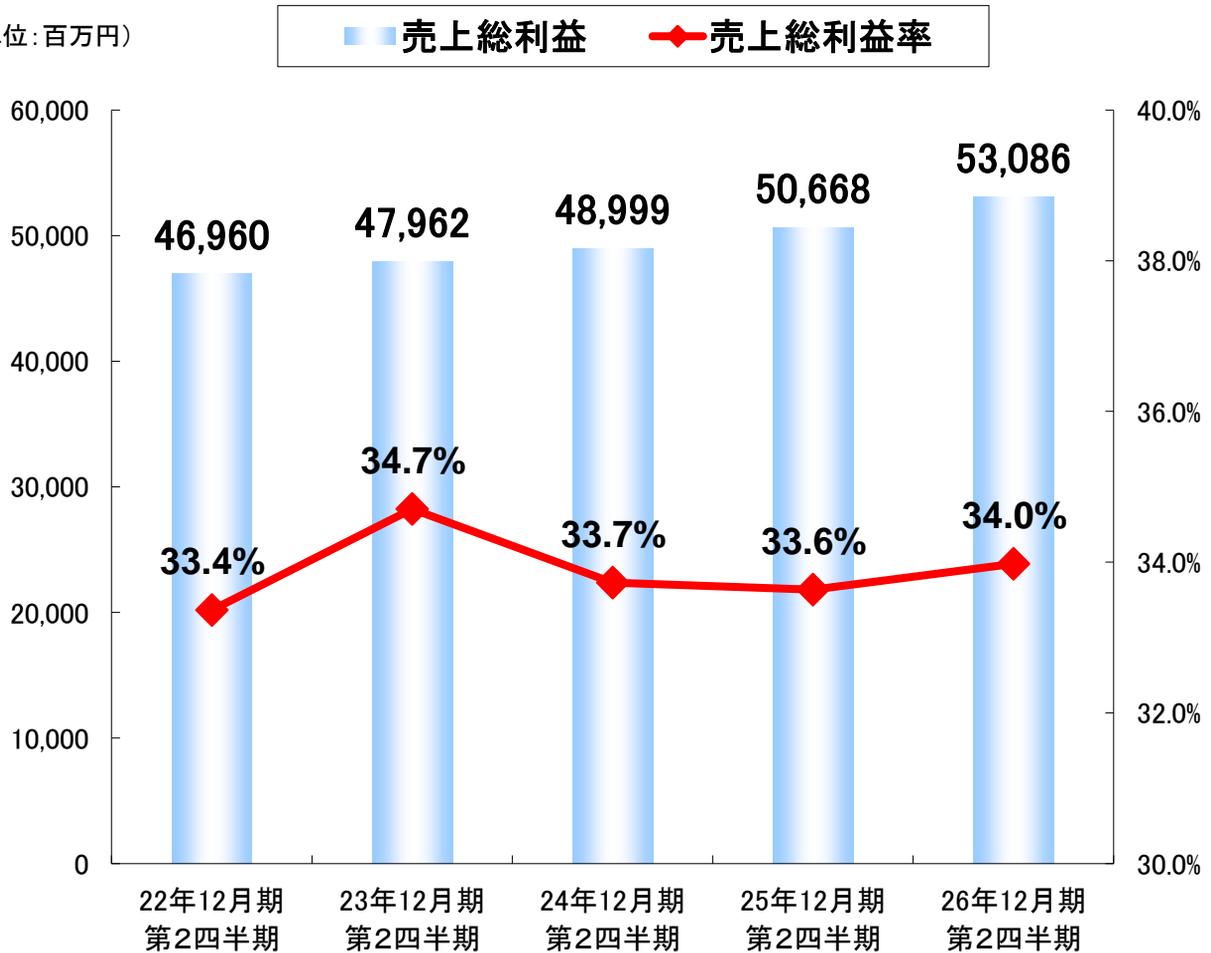
	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	140,741	138,199	145,283	150,629	156,243	+5,614	+3.7%
売上総利益 (率)	46,960 (33.4%)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	+2,418 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	41,899 (29.8%)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	+1,587 (△0.0p)	+3.6%
営業利益 (率)	5,061 (3.6%)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	+831 (+0.4p)	+12.7%
経常利益 (率)	5,334 (3.8%)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
四半期純利益 (率)	2,028 (1.4%)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

1. 損益計算書の状況

◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収により前年同期比4.8%増の530億円となり、売上総利益率は34.0%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

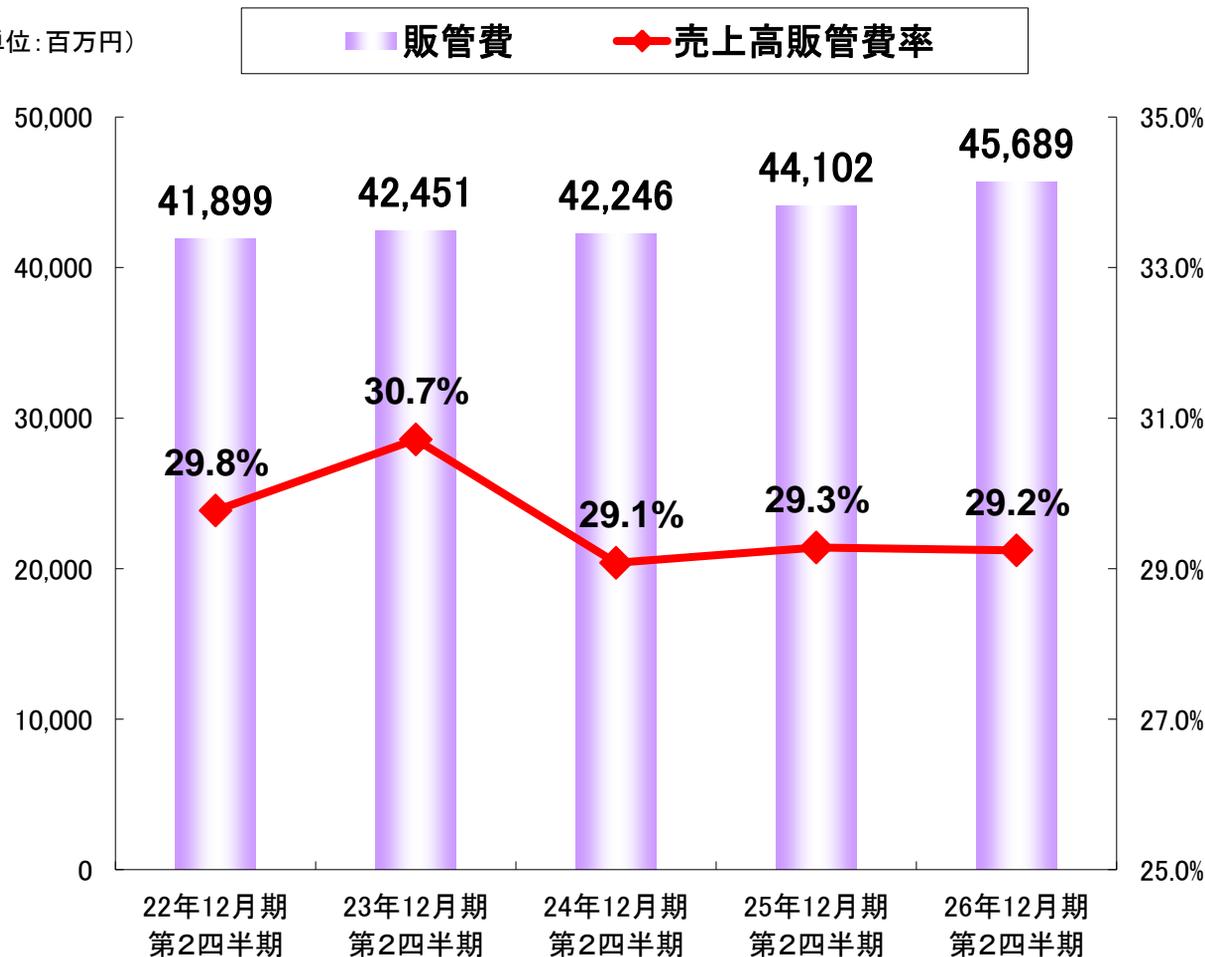
	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	140,741	138,199	145,283	150,629	156,243	+5,614	+3.7%
売上総利益 (率)	46,960 (33.4%)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	+2,418 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	41,899 (29.8%)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	+1,587 (△0.0p)	+3.6%
営業利益 (率)	5,061 (3.6%)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	+831 (+0.4p)	+12.7%
経常利益 (率)	5,334 (3.8%)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
四半期純利益 (率)	2,028 (1.4%)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、前年同期比3.6%増の456億円となり、売上高販管費率は前年並みの29.2%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	140,741	138,199	145,283	150,629	156,243	+5,614	+3.7%
売上総利益 (率)	46,960 (33.4%)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	+2,418 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	41,899 (29.8%)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	+1,587 (△0.0p)	+3.6%
営業利益 (率)	5,061 (3.6%)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	+831 (+0.4p)	+12.7%
経常利益 (率)	5,334 (3.8%)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
四半期純利益 (率)	2,028 (1.4%)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

1. 損益計算書の状況

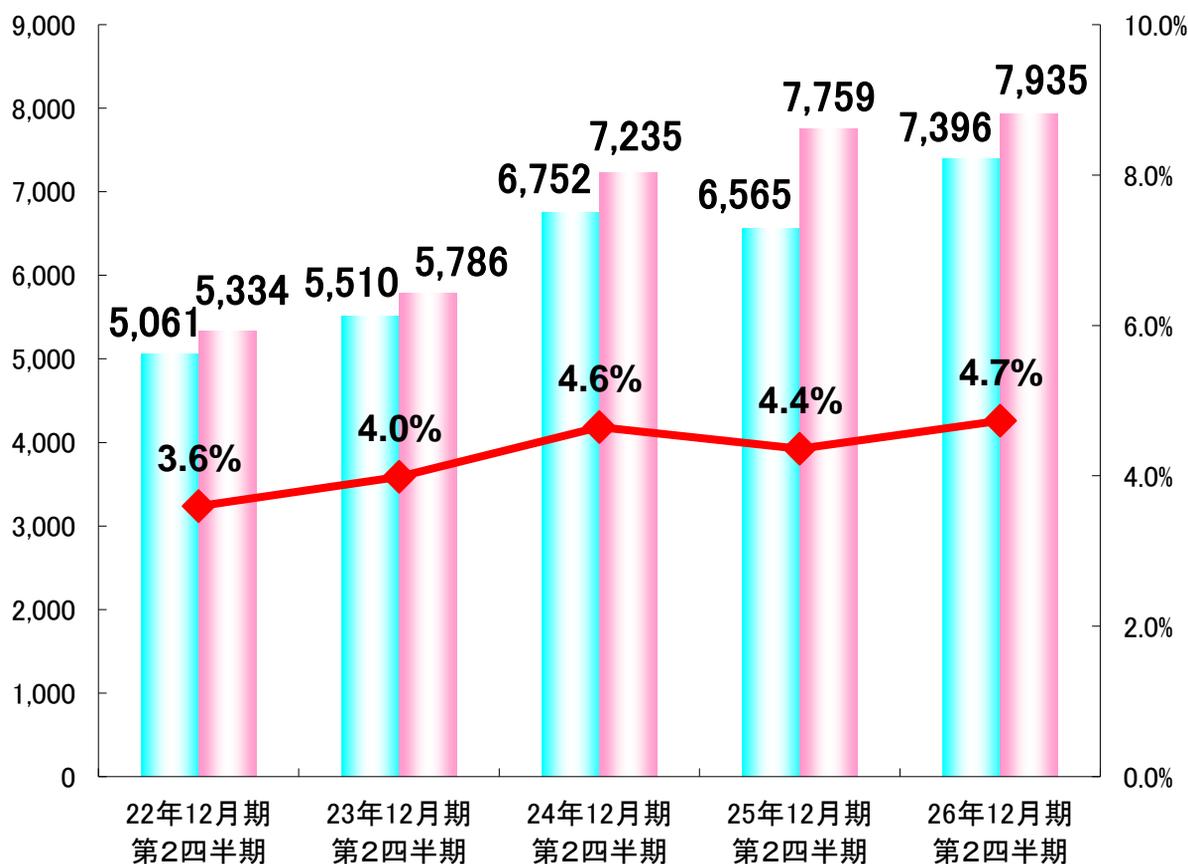
◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、増収による売上総利益の増加等により、前年同期比12.7%増の73億円となりました。

経常利益は、為替相場が前年同期に比べ安定したため為替差益が減少しましたが、前年同期比2.3%増の79億円となりました。

(単位:百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	140,741	138,199	145,283	150,629	156,243	+5,614	+3.7%
売上総利益 (率)	46,960 (33.4%)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	+2,418 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	41,899 (29.8%)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	+1,587 (△0.0p)	+3.6%
営業利益 (率)	5,061 (3.6%)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	+831 (+0.4p)	+12.7%
経常利益 (率)	5,334 (3.8%)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
四半期純利益 (率)	2,028 (1.4%)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

1. 損益計算書の状況

◆1-6 四半期純利益

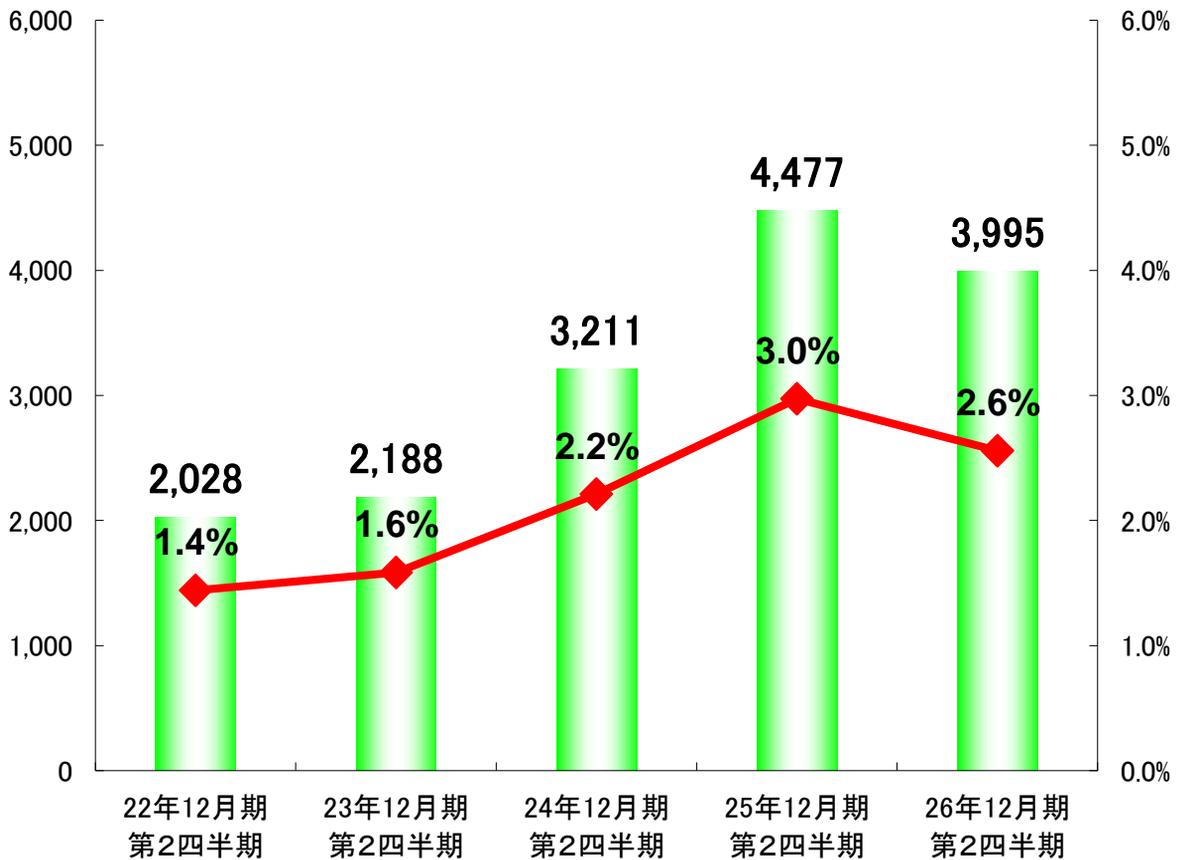
四半期純利益は、法人税等の増加により、前年同期比10.8%減の39億円となりました。

○特別利益・・・固定資産売却益 56百万円

○特別損失・・・貸倒引当金繰入額 197百万円、減損損失 168百万円等、合計 441百万円

(単位:百万円)

■ 四半期純利益 ◆ 売上高四半期純利益率



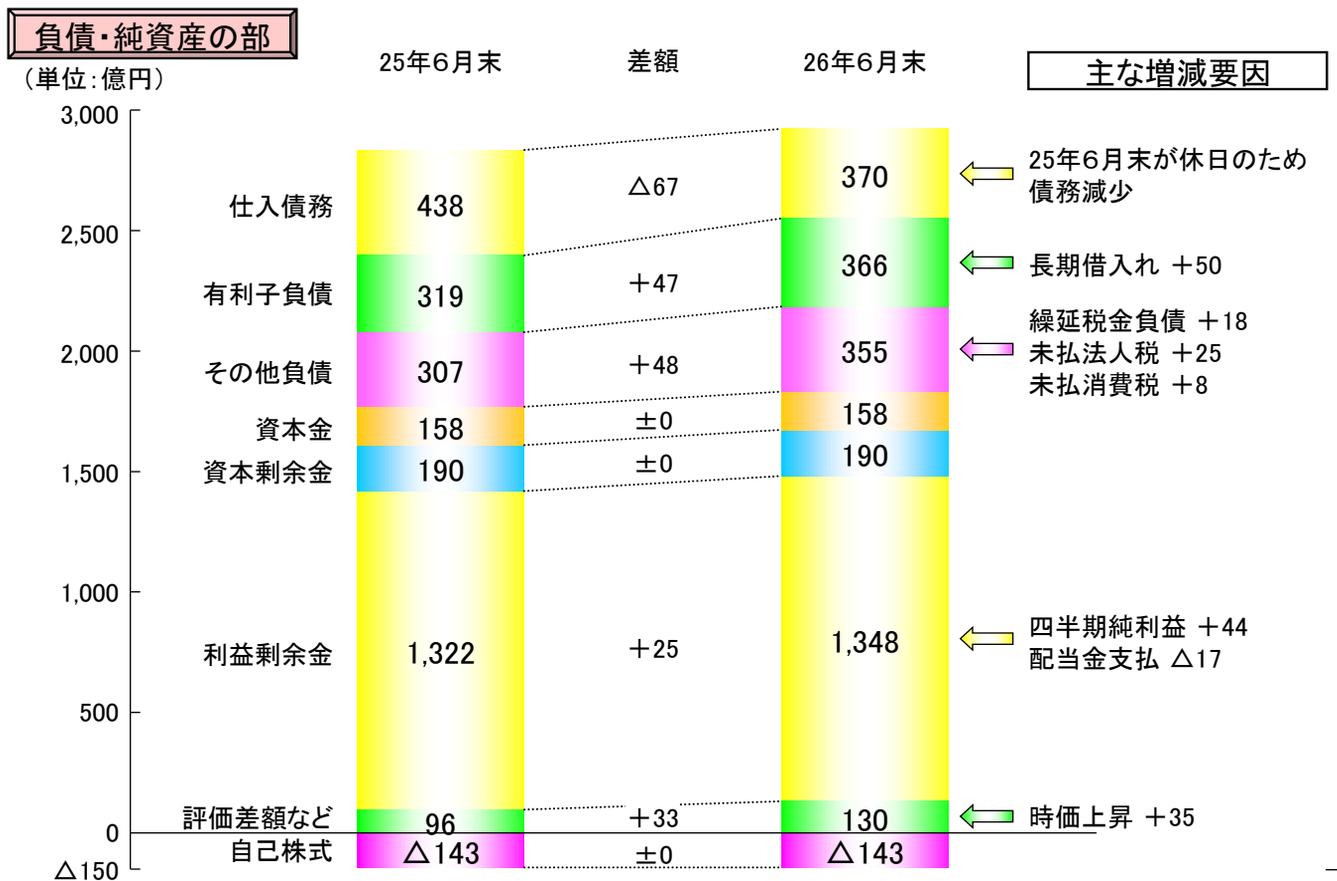
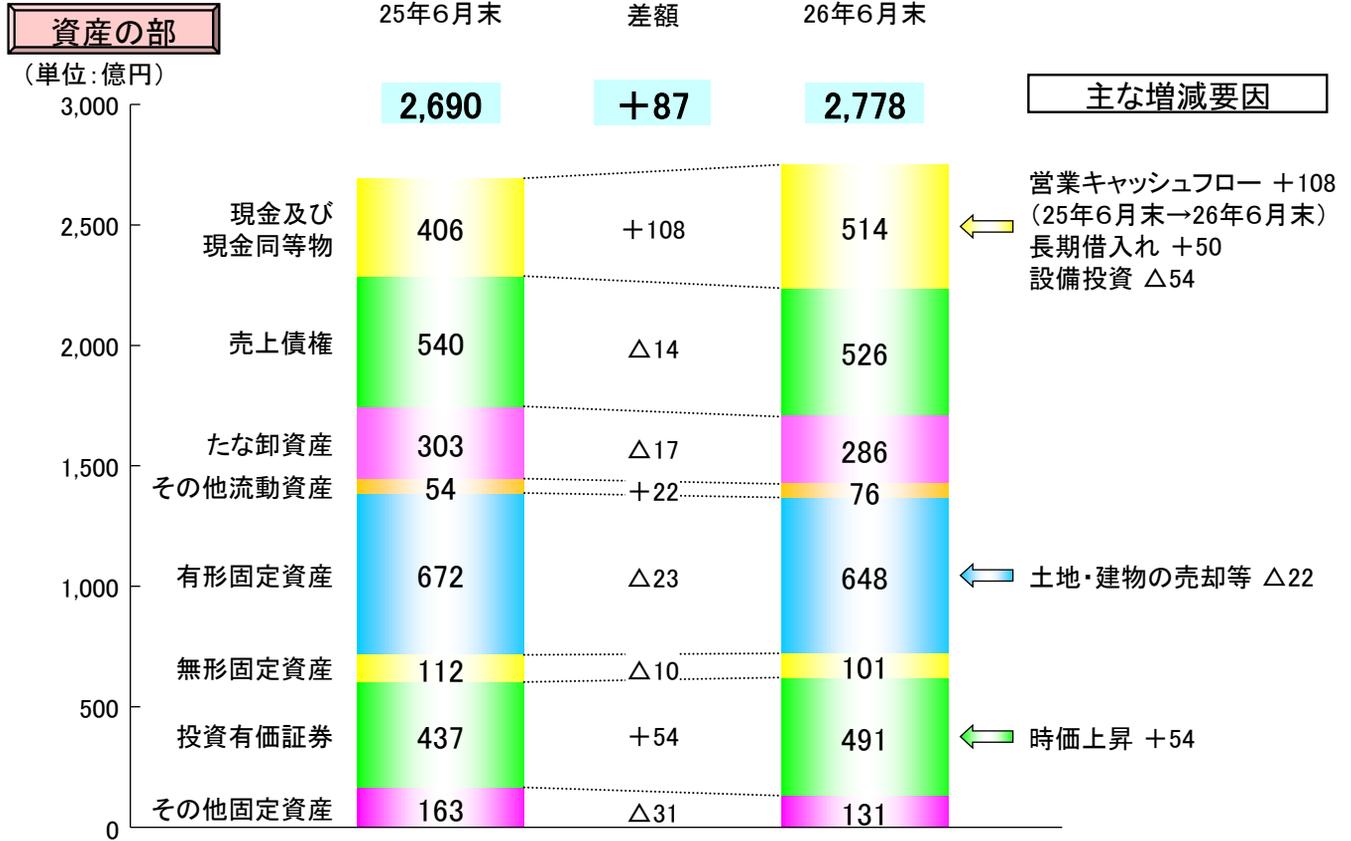
(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	5,334 (3.8%)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	+176 (△0.1p)	+2.3%
特別損益	△693	△1,186	△802	△473	△384	+89	—
特別利益	+791	+341	+274	+403	+56	△347	△86.1%
特別損失	△1,484	△1,527	△1,076	△876	△441	+435	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	4,641 (3.3%)	4,601 (3.3%)	6,432 (4.4%)	7,286 (4.8%)	7,550 (4.8%)	+264 (△0.0p)	+3.6%
法人税等	2,613	2,413	3,221	2,809	3,554	+745	+26.5%
四半期純利益 (率)	2,028 (1.4%)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	△482 (△0.4p)	△10.8%

2. 貸借対照表の状況

投資有価証券の時価上昇等により、総資産は2,778億円となりました。

※比較のため前期の数値は25年12月期第2四半期(25年6月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは118億円、投資キャッシュフローは△9億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は108億円となりました。
また、財務キャッシュフローは33億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から140億円増加し、514億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

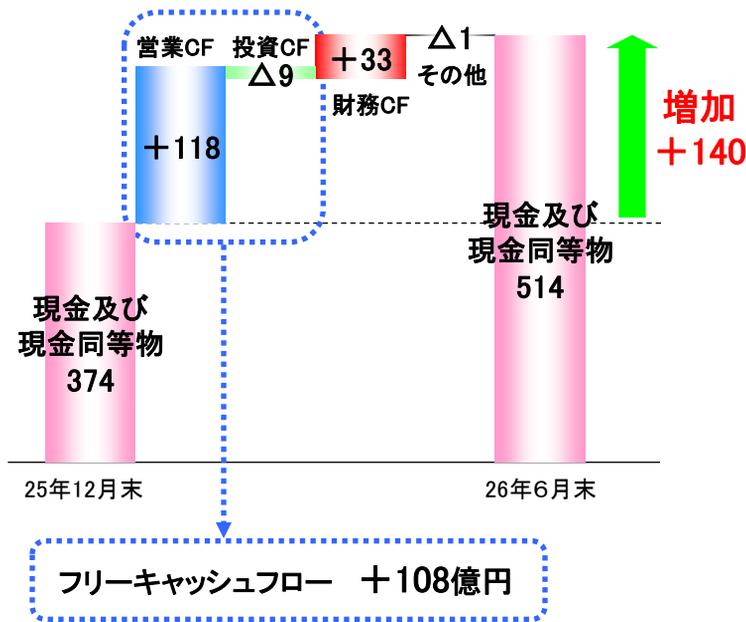
<設備投資>

設備投資は、28億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 26年12月期 第2四半期

(単位:億円)



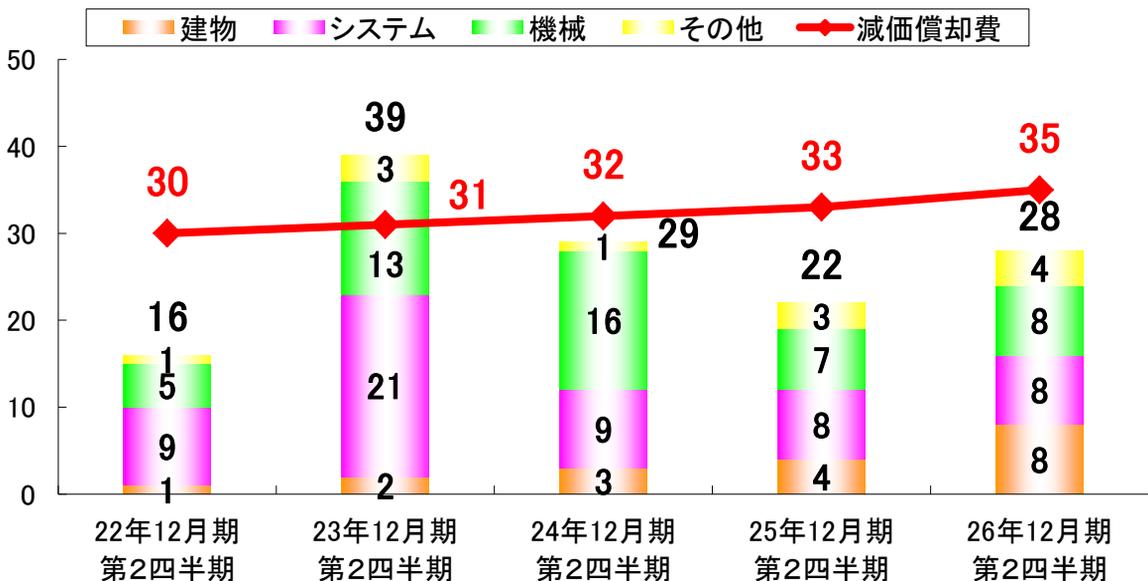
□ キャッシュフロー計算書 26年12月期 第2四半期

(単位:億円)

項目	金額(億円)
◆営業キャッシュフロー	+118
税金等調整前四半期純利益	+75
減価償却費	+35
賞与引当金の増減	+31
たな卸資産の増減	+30
債権債務の増減	△50
法人税等の支払	△25
その他	+22
◆投資キャッシュフロー	△9
長期性預金の払戻等	+18
設備投資	△28
◆財務キャッシュフロー	+33
長期借入れによる収入	+50
配当金の支払	△8
その他	△7

□ 設備投資・減価償却費の推移

(単位:億円)



4. 事業セグメントの損益状況

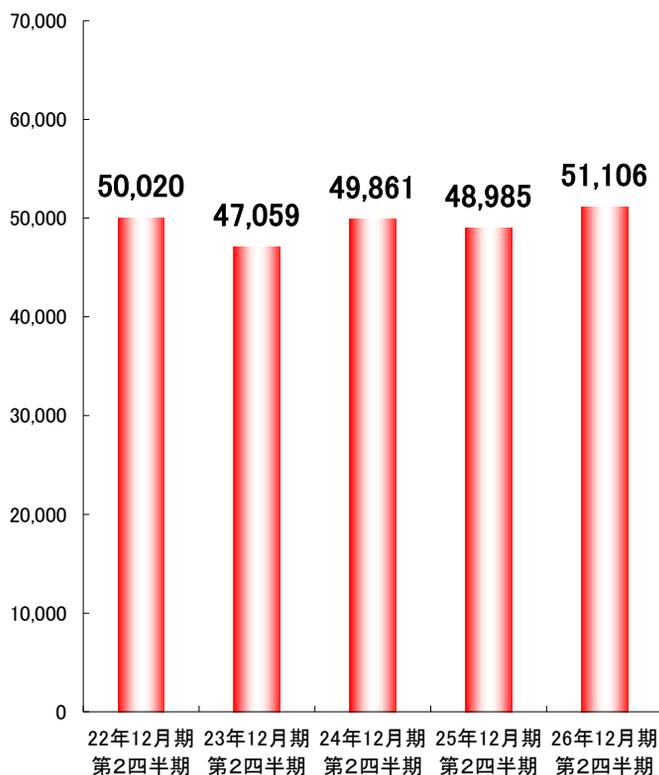
◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、国内、海外事業とも伸長し、前年同期比4.3%増の511億円となりました。

営業利益は、販売チャネル構成の変化、コピー用紙等の低利益率商品の売上構成比率の上昇、原材料価格の高騰等による売上総利益の減少、加えて、売上拡大に向けた商品開発や流通施策における費用の使用により、前年同期比20.3%減の36億円となりました。

売上高

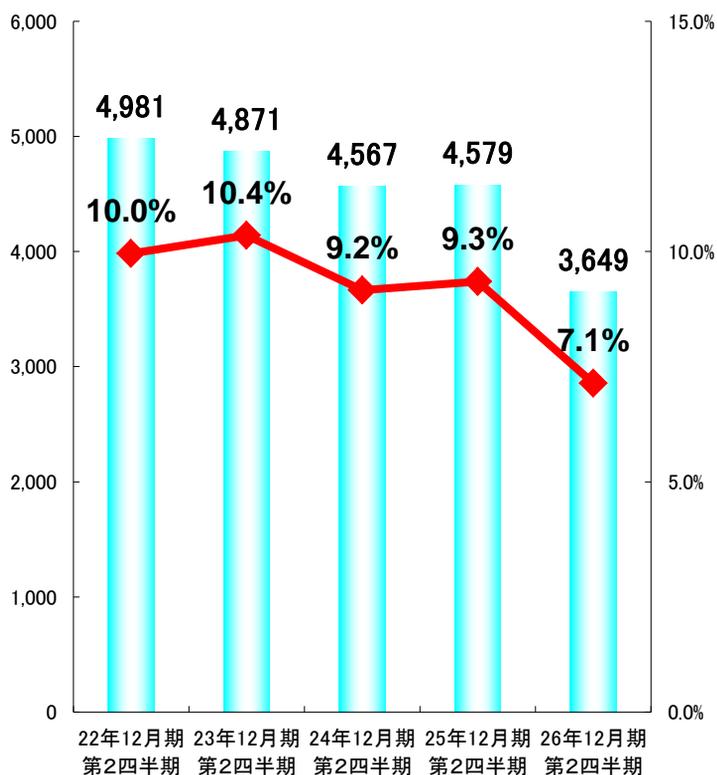
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	50,020	47,059	49,861	48,985	51,106	+2,121	+4.3%
営業利益 (率)	4,981 (10.0%)	4,871 (10.4%)	4,567 (9.2%)	4,579 (9.3%)	3,649 (7.1%)	△930 (△2.2p)	△20.3%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

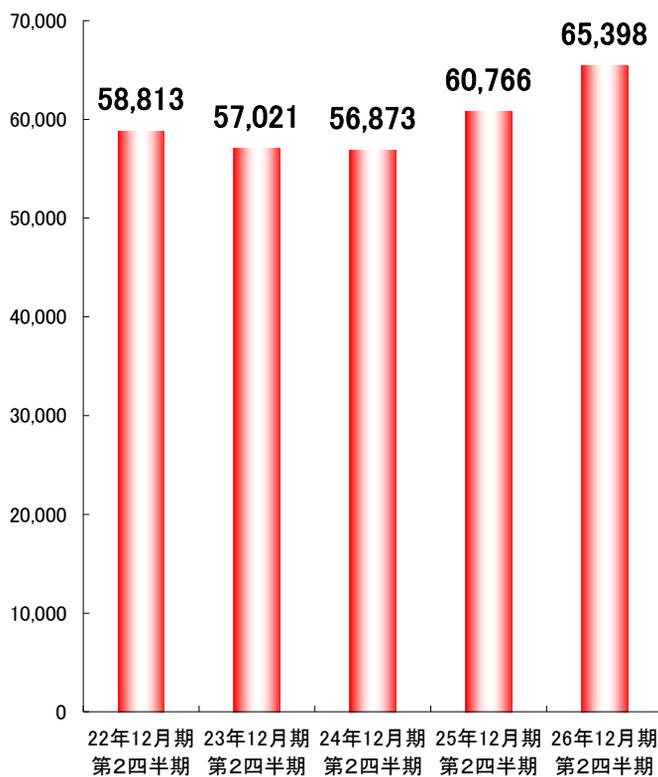
◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業がオフィスの移転やリニューアルの増加により堅調に推移したこと、海外事業も中国におけるオフィス家具販売が伸長したことにより、前年同期比7.6%増の653億円となりました。

営業利益は、増収による売上総利益の増加により、前年同期比58.0%増の37億円となりました。

売上高

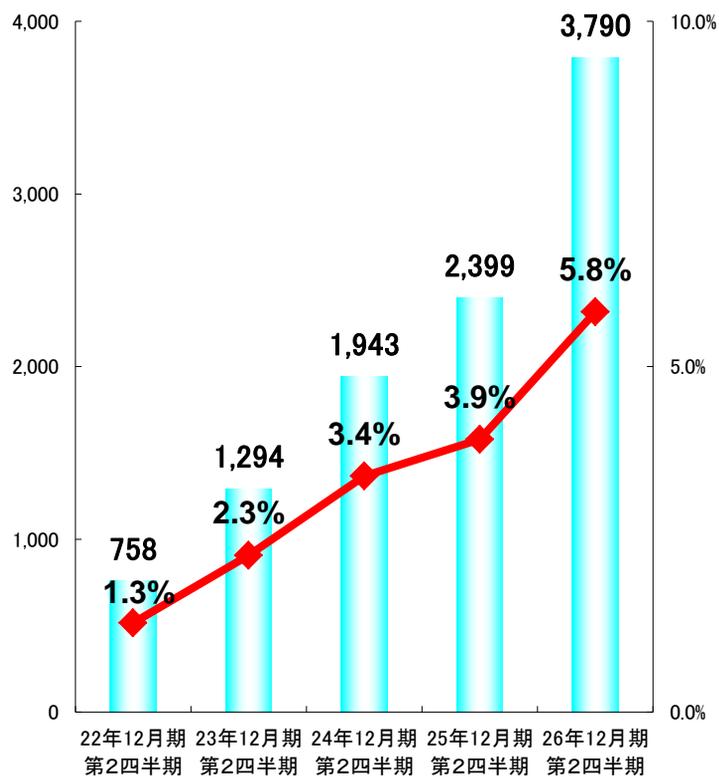
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	58,813	57,021	56,873	60,766	65,398	+4,632	+7.6%
営業利益 (率)	758 (1.3%)	1,294 (2.3%)	1,943 (3.4%)	2,399 (3.9%)	3,790 (5.8%)	+1,391 (+1.8p)	+58.0%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

◆4-3 通販・小売関連事業

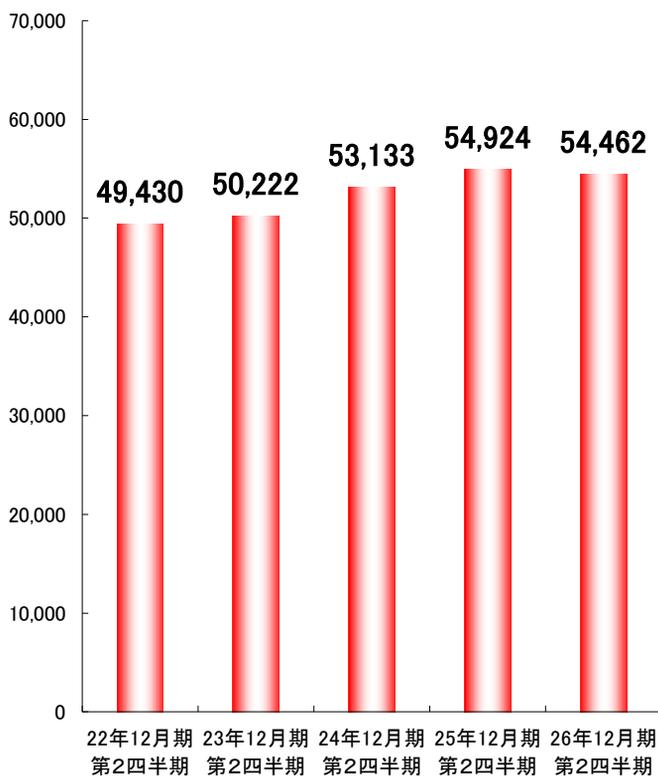
売上高は、フォーレスト株式会社の連結除外(※)による減収があったものの、カウネット及びアクタスの増収により、ほぼ前年並みの544億円となりました。

営業利益は、カウネット及びアクタスの増収による売上総利益の増加により、前年同期比30.4%増の13億円となりました。

(※)平成25年12月20日に当社の連結子会社であったオフィス用品の通販会社であるフォーレスト株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

売上高

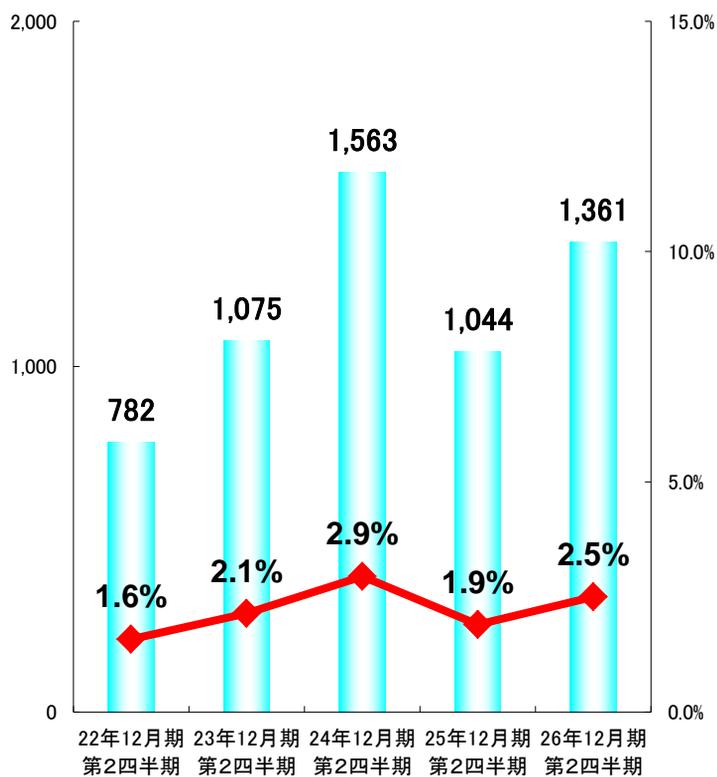
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第2四半期	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	49,430	50,222	53,133	54,924	54,462	△462	△0.8%
営業利益 (率)	782 (1.6%)	1,075 (2.1%)	1,563 (2.9%)	1,044 (1.9%)	1,361 (2.5%)	+317 (+0.6p)	+30.4%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 26年12月期の見通し

第2四半期累計期間における業績が当初予想を上回ったことに伴い、平成26年2月13日に公表しました26年12月期の見通しを売上高、利益面とも上方修正いたしました。

通 期

(単位: 百万円)

	25年12月期 通期 実績 (12ヶ月)	26年12月期 通期 予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率	(ご参考) 26年12月期 当初予想
売 上 高	288,083	294,500	+6,417		+2.2%	289,000
ステーションリー	90,115	93,200	+3,085		+3.4%	91,400
ファニチャー	114,625	122,400	+7,775		+6.8%	118,800
通 販 ・ 小 売	110,531	107,300	△3,231		△2.9%	106,400
調 整 額	△ 27,189	△ 28,400	△ 1,211		-	△ 27,600
営 業 利 益 (率)	6,426 (2.2%)	7,800 (2.6%)	+1,374	+0.4p	+21.4%	6,500
ステーションリー (率)	5,937 (6.6%)	5,300 (5.7%)	△637	△0.9p	△10.7%	5,300
ファニチャー (率)	1,592 (1.4%)	3,800 (3.1%)	+2,208	+1.7p	+138.6%	2,500
通 販 ・ 小 売 (率)	1,552 (1.4%)	1,900 (1.8%)	+348	+0.4p	+22.4%	1,600
調 整 額	△ 2,656	△ 3,200	△544		-	△ 2,900
経 常 利 益 (率)	8,276 (2.9%)	8,200 (2.8%)	△76	△0.1p	△0.9%	6,900
当 期 純 利 益 (率)	4,804 (1.7%)	4,200 (1.4%)	△604	△0.2p	△12.6%	3,700

※フォーレスト株式会社の株式譲渡に伴う平成26年12月期の見通しに与える影響額は、売上高で約100億円、営業利益で約1億円、それぞれ減少します。

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 主なトピックス

～モノづくりと環境保全へのこだわりを、見て、体験できる～ ノート生産設備の見学ツアーを開始

株式会社コクヨ工業滋賀は、お客様とのコミュニケーションをより深めるため、ノート生産設備の見学ツアーを開始しました。

同社は、昭和63年の設立以来、地元貢献・環境貢献といった地域社会との関わりを大事にしながら、紙製品製造を続けており、現在では、滋賀県から世界各地のコクヨグループ紙製品工場へ技術とモノづくりの精神を発信する、ノート生産量日本一(※)の工場となっています。

見学ツアーでは、生産設備や環境対応設備の見学に加え、品質へのこだわりを体験できるコーナー等を用意するとともに、限定商品の販売も実施しています。

※日本国内のノート販売におけるトップシェアはコクヨであり、本工場でそのほぼ全数を生産しています。



コクヨ工業滋賀 工場内部



見学ツアーの様子

～特殊加工刃により切る力を当社従来品比約50%軽減～ 軽い力でよく切れるテープカッター「カルカット」(ハンディタイプ)を発売

コクヨS&T株式会社は、軽い力でよく切れるテープカッター「カルカット」シリーズに、持ち運びに便利なハンディタイプを追加しました。

本年1月に発売した「カルカット(据置タイプ)」は、切り心地のよさが好評を得て、年間10万個の販売目標を達成する見込みです。同時に、パーソナルユース向けの「カルカット」も出して欲しいという要望が多くありました。

「カルカット」(ハンディタイプ)は、家庭でも使えるハンディタイプのテープカッターです。軽量でコンパクトなので、移動しながらの掲示・貼付作業や自宅リビングなどで使わない時はしまっておける利便性があります。また、特殊加工刃により、切ったテープの切り口はまっすぐきれいに仕上がります。軽い力でよく切れるため、力が弱いお子様や年配の方にも安心して使っていただけます。



テープカッター「カルカット」(ハンディタイプ) (左)小巻タイプ、(右)大巻タイプ

6. 主なトピックス

～上質な機能美で心地よい仕事環境を提供～ ワークステーションシリーズ「SAIBI(サイビ)」を発売

コクヨファニチャー株式会社は、ワーカーに心地よい仕事環境を提供する、上質な空間にふさわしいデザイン性と機能性を追求したワークステーションシリーズ「SAIBI(サイビ)」を発売しました。

「SAIBI」は、ハイエンドなオフィスファニチャーのオリジナルブランドとして、天板や脚部などの部品一つ一つの細部から色、素材、形までこだわり抜いたデザイン性と、ワーカー個人のパフォーマンスを高める働きやすい機能性を追求したシリーズです。

働き方の質を高めたいワーカーへ向けて、従来の家具の枠を超えて、感性を刺激する心地よい仕事環境を提供します。バリエーションは、空間デザインや職種、グレード、人数等に合わせ、スタンダードセッティングやブースセッティング、パーソナルブースセッティング等に対応したデスクやパネル、ベンチ収納やトレイなどのオプション類、多彩な素材・カラーバリエーションを取り揃えました。



～丁寧な暮らしを提案するライフスタイルストア～ 「SLOWHOUSE(スローハウス)」を東京・天王洲にオープン

株式会社アクタスは、東京・天王洲のウォーターフロントに、丁寧な暮らしを提案するライフスタイルストア「SLOWHOUSE」を4月25日にオープンしました。

エシカルで持続可能な暮らし方を追求するアクタスのフィロソフィを伝えるコンセプトブランド「SLOWHOUSE」、アメリカ・ポートランド発の季刊誌「KINFOLK」のクリエイティブディレクター、ネイサン・ウィリアムズの美意識で作られたジェネラル・ライフスタイルブランド“Ouur by KINFOLK(アウアー・バイ・キンフォーク)」、鮮度豊かな食材をリーズナブルに提供する本格的なレストラン“SOHOLM(スーホルム)”など、それぞれのエッセンスが溶け合い、独特の世界観を醸し出す上質かつ洗練された空間で心穏やかな時間をお楽しみ頂けます。

天王洲店は、大阪・梅田店に続く関東唯一のフラッグシップショップとして、暮らしを彩る様々な時と場を提供し、本質的な暮らし方を追求・提案します。

